

佐渡地域でOWL操作体験会を開催

令和7年11月6日（木）実施

国有林では、「新しい林業」の実現に向けた取組として、地上型レーザースキャナ「OWL」の導入による立木調査の効率化、省力化を目指して運用を進めています。この新たなICT技術の普及を目的に、新潟県佐渡市において、県・市の林務担当者や事業体等を対象としたOWL操作体験会を開催しました。

県・市から5名、事業体等から11名の参加があり、当署職員10名とともにOWLの操作説明を受けた後、実習としてプロットのテープ標示やOWL計測を体験してもらいました。また、パソコン画面上で、事前に用意した隣接プロットの解析画像の解説を行い、林内のスキャンデータ（解析画像）を確認してもらいました。参加者からは、立木調査の精度や調査可能な林分、導入コスト等について質問が挙げられました。

下越森林管理署では、今後も、ICTを活用した「新しい林業」の取組を推進していくとともに、地域の森林・林業の発展に貢献できるよう取り組んで参ります。



開会の様子



OWL 操作説明



標準地テープ標示



OWL 計測体験



OWL 解析画像の説明



質疑応答